# ST '54 ORIGINAL MODEL VINTAGE / '64 ORIGINAL MODEL OLDIES

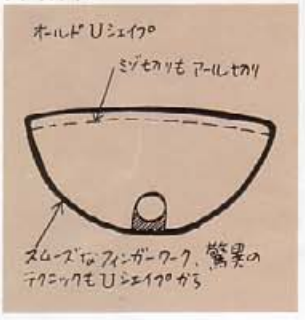
## 不滅の名作として君臨し続けるSTシリーズ、新たな衝撃を秘めて……。

●ヘッドストック（STヴィンテイジモデル）

●ヘッドストック（STオールディモデル）

●ネックシェイプ1

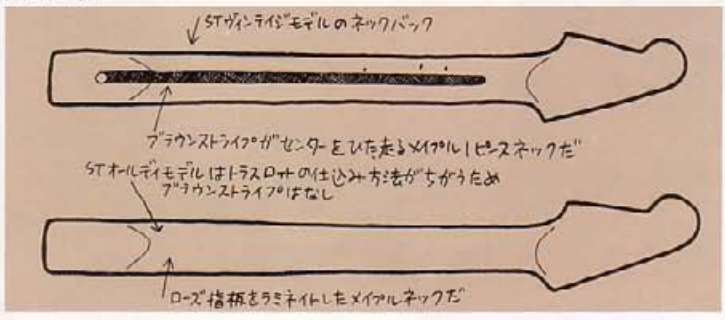
●ネックシェイプ2



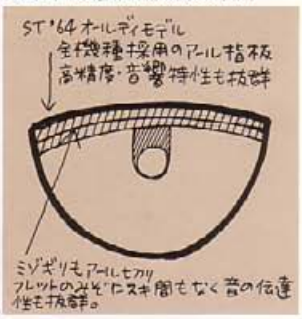

●ストリングガイド

●ネック：'81ニュースペックより新たにSTシリーズの顔が2つにはめこまれかわった。まずは発表と同時に爆発的な人気と支持を獲得、オールドモデルキングの名を欲しいままにした'54ヴィンテイジモデル。そして第2のオールドモデルとしてローズセンセーションを巻きおこした'64オールディモデルの2タイプだ。●'54ヴィンテイジモデル：①ヘッドストックはトーカイの自信作。全体のフォルム、フィニッシュ、ネーミング、ペグ等すべてに'54ストラトの熱い鼓動をジャストに伝え、他のオールドモデルとは比較にならないほどパーフェクトな仕上がりを見せている。これがほんとうのウロージャンヘッドなのだ。ヘッドデザインが同じでも手を抜いたフィニッシュはいただけない。微妙なフィーリングを大事にするギターフリークなら、なおさら気になるところだ。ストリングガイドはオールドタイプ丸型1ケ。格調高いヘッドストックにシャープなアクセントをそえ、抜群のペグヘッドフィーリングを誇っている。②ネック仕様は全機種ハードロックメイプル1ピースネック、ネックのニギリ形状もVシェイプとUシェイプの2タイプが用意されているからうれしい。Vシェイプは'54ストラト特有のグリップ感覚を見事に再現した俗にいう角ネック。長時間のプレイにも疲れを感じさせずフィンガーワークもスムーズ。ハイテクのミュージシャンお気に入りのスーパーシェイプだ。Uシェイプも演奏性バツグン。よく手になじみ先のVシェイプとは一味違ったニギリ形状でく気が高い。自分の好みおよびスタイルに、応じてセレクトしてほしい。●'64オールディモデル：ヘッドストック&ネック共に'64ストラトを忠実に再現し生まれかわったニューネック仕様。ハードロックメイプルにローズ指板をラミネイト。この際トラスロッドはネックバックからではなくローズ指板の下にセットされたため'54ストラトモデルに見られたヘッドストックのブラウンポイントおよびネックバックのブラウンストライプが消えている。さらにローズ指板は'64オリジナルモデルと全く同じマテリアルのラウンドのついたアール指板を採用。音響特性にも優れ、技術的にも精度の高いスーパーネックを見事に再現。ローズセンセーションをまきおこした。①ヘッドストックは'54ヴィンテイジモデルと同様、気品格調あふれるスモールヘッドストック。前の面といも完璧で、ストリングガイドは平行2ウェイタイプが1ケ。'60年代のフィーリングをパーフェクトにレプリカしたニューフェイスだ。②ネックは全機種メイプルにローズ指板をラミネイトしたいわゆるローズネック。先ほどもふれたがアール指板を採用。ちなみにトラディショナルストラトモデルのネックの歴史について少しふれてみると'59年までは全てメイプル1ピースネック仕様で、'60年から（厳密にいうと'59年中頃から～）ローズ指板ネック仕様になる。そしてローズ指板のラミネイト方法も'60～'62年まではフラット指板。'63年からアール指板がそれぞれ張り合わされるようになった。STシリーズが特に技術的にもむずかしいアール指板ネックを採用した理由は、フラット指板にくらべ接着面積もたきく音響特性および強度的にも優れているからだ。シェイプもVシェイプおよびUシェイプの2タイプ。ローズフィンガーボード独特のなめらかなフィンガリングとメローなサウンドを実感してほしい。●フレッティング：フレット仕上げも'54メイプル1ピースネックおよび'64ローズ指板ラミネイト・メイプルネック共に完璧だ。まずフレットが打ちこまれるミゾは、フレットの足（タグと呼ぶ）が入る深さにあわせて1本1本切られており、ハードなプレイにもガッチリと応えることはもちろん、ネックの剛性、音の伝達性が一段と向上した。トーカイSTシリーズならではの細かい配慮だ。●ロゴマーク：トーカイスプリンギーサウンドのロゴマークはデカール方式で塗装まくの上に貼りつけてある。貼りつけ方法も特殊でトーカイ㊙技術で、時が経つほどにオールドと同じ味わいが発揮される。気品のある金文字に黒ブチのロゴマークとオールドクローズジャンヘッドの抜群のペグヘッドフィーリングは、まさにオールドモデルのキングだ。●ボディ：今ではすっかり有名になってしまったNCルーターがその真価を最大限に発揮している。それまでのボディ加工には考えられなかったトーカイだけのウルトラC的製法のひとつだ。立体までもきれいくまなくカロエし、正確無比を誇る「3次元ルーター」、そして長年ギター作りによってつちかわれたクラフトマンの技術、製作経験がプラスされ、もう完璧といっていいほどだ。特に「ボディ・ネックブルネックの宿命」であるとされていたネックジョイント部はすばらしい仕上がりをみせる。まさにセットネックに優るとも劣らない完成度だ。手にとって他のオールドコピーモデルとよく比較してもらいたい。その違いがはっきりとわかるはずだ。そして特筆すべきはついにトラディショナルモデルの代表的ボディ材、アルダーを全面的に採用。オールドストラトサウンドの再現にたきく貢献していることはもちろんオールドギターマニア垂涎のマテリアルだ。またまた少し今度はボディ材の歴史について若干ふれてみるとデビューモデルの'54STモデルはアッシュでスタート。'56年モデルよりアルダー変更となり'58STモデルに代表されるオールドストラトサウンドガー世をふうびし、現代に至っても絶大な人気を誇っているというわけだ。STシリーズもオールドの中でもっとも人気の高いアルダー材を使用、オールディなサウンドをスムーズに再現している。大胆にカッティングされたオフセットシェイプドウエストカットボディはもちろん、ピックアップおよびコントローラー部の穴加工もパーフェクトに再現している。世界のスーパースターおよびオールドギターマニアを驚嘆させ続ける、これぞパーフェクトレプリカ（完全複製）モデルの決定版だ。

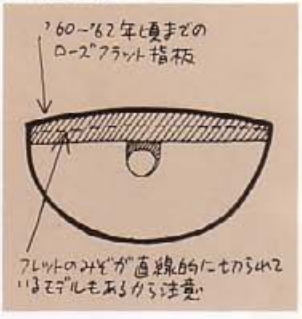
●ネックバック




●ローズアール指板（STオールディモデル）

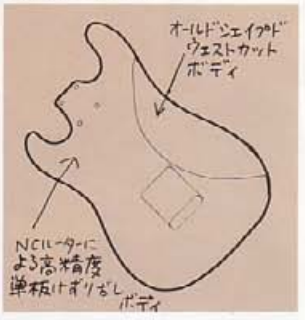


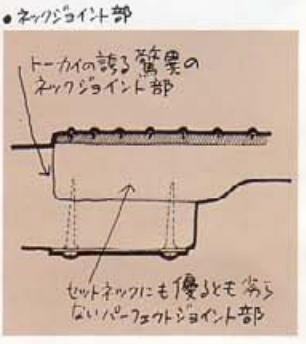

●ローズフラット指板




●ボディ（フロントビュー）

●ボディ（リアビュー）




●ネックジョイント部